

建設施工分野における地球温暖化対策について

平成19年2月



建設施工における地球温暖化対策の手引きについて

◆CO₂排出量の少ない工法選定や資材調達、建設機械の選定および、建設機械の操作法について紹介し、建設施工分野全体からCO₂排出削減を行うための指針。

◆業団体を通じて啓蒙活動を行っているところ。

工法選定支援

- 工法、工程別のCO₂排出量データ
例)スリップフォーム工法 0.70t-CO₂
一般施工 0.85t-CO₂ など。

CO₂低排出工法の
選択支援

資材選定支援

- 製品別のCO₂排出量データ
例)ホルランドセメント 0.84kg-CO₂/kg
※製品製造運搬過程での排出量 高炉セメント 0.50kg-CO₂/kg

CO₂低排出資材
の選択支援

機械選定支援

- 低CO₂化に資する建設機械紹介
例)現場条件に合った建設機械の選定
省エネ機構を搭載した建設機械の紹介

CO₂低排出機械
の選択支援

運搬計画支援

- 運搬計画におけるCO₂低減方法
例)往復路分離、急カーブの削減など。

CO₂低排出運搬
計画立案支援

施工計画

施工時

省エネ運転励行

- 省エネ運転の基本事項の紹介
例)エンジン回転の抑制、アイドルストップ、
省エネ運転法
点検整備の励行 など

施工時のCO₂
低排出化の励行

低燃費型建設機械指定制度について

低燃費型建設機械の使用を奨励し、公共工事において積極的に活用することにより、低燃費型建設機械の普及を促進する等、建設施工分野におけるCO2削減を推進する。



低燃費型建設機械指定制度の創設

省エネ機構搭載型建設機械

(2007年度より指定開始)

●特定の省エネ機構を具備した建設機械

例) アイドリング制御機構, 全馬力油圧制御機構, 省エネモードなど。

1990年比10%低減に資する機構

省エネ機構搭載建設機械として指定

対象機種

低燃費型建設機械

(2008年度中制度策定)

●標準作業時燃費基準を満たす建設機械

- ・負荷を用いた模擬作業により、機種毎に定めた標準作業を測定する際の規格をJCMASにおいて規程。
- ・JCMAS規格に則り各機種各出力帯別に標準作業燃費基準値を策定。
- ・基準値のみならず、将来目標値も策定。

基準値を満たす建設機械

低燃費型建設機械として指定

- ・土工用建設機械3機種で建設機械CO2排出量全体の「約6割」



ブルドーザ



バックホウ



トラクターショベル